

日ラ射 020 発第 026 号
2020 年 6 月 15 日

加盟団体理事長 各位

公益社団法人日本ライフル射撃協会
専務理事 袴田登喜造
競技運営委員長 溝部 政司
競技運営副委員長 平井 宏治
競技企画部会長 佐橋 朋木

イベント再開に向けたガイドライン／チェックリスト

緊急事態宣言が解除され、加盟団体においては再活動に向けていろいろと準備されていると存じます。5 月 28 日に留意点についてお願いをさせていただきましたが、実際に競技会等を開催するにあたって、感染防止策のガイドライン／チェックリストを作成しましたので、参考としていただきますようお願いいたします。

なお、このガイドライン／チェックリストは日本スポーツ協会のガイドラインを基にして、射撃競技の特性を勘案し作成したものです。

実際に競技会を開催する場合は、当該射撃場施設を管理する行政や管理者等の指示に従い、現場で状況に応じて対応いただきますようお願いいたします。

以上

【添付】

日ラ競技会等開催・実施時の感染防止策ガイドライン／チェックリスト

<参考>

JSPO 日本スポーツ協会
スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html>

公益社団法人日本ライフル射撃協会 競技会等開催・実施時の感染防止策ガイドライン/チェックリスト

全般的な事項 開催にあたっては開催地の自治体基準に従うこと

- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に確認すること
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた情報について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくこと
- イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合、施設の立地する自治体の対応方針に従うこと

競技会等参加募集時の対応

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求める（募集要項に明記）
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航 又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを着用
（射座で競技を行っていない、参加受付時や着替え時等の際にはマスクを着用）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 選手間は1m以上を確保して競技できるよう射座配置を工夫すること
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと

当日の参加受付時の対応

- 射場役員、スタッフには、熱中症に注意した上で、マスクを着用させること
- 当日、複数射群の場合は各射群毎に受付を行い、競技終了後は滞留することなく帰宅を推奨

競技会等参加者への対応

- マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
 - 競技を行っていない際にはマスクを着用すること 着用する場合は熱中症に注意すること
- 観客の管理
 - 観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること
 - 熱中症に注意の上、マスクを着用すること
- 競技会場
 - 競技会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
 - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- ゴミの廃棄
 - 自分のゴミは、自分で持ち帰るように掲示すること
 - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること

主催者の射撃場管理者への依頼事項

- 手洗い場所
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること

各競技会の特性等を勘案して、上記以外に必要な取組を適宜盛り込んでいただきますようお願いいたします